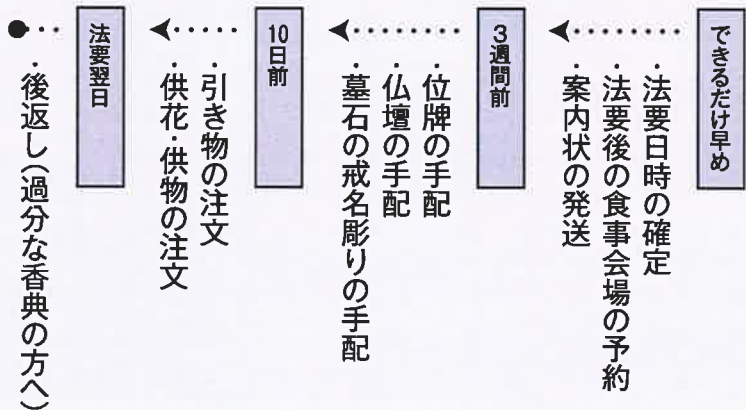


葬儀後は…

法要日程、早めに案内 仏壇は部屋に合わせて

葬儀・告別式の後、法要や位牌、仏壇はいつ、どのように準備をしたらよいのでしょうか。法事の際のコンサルティングを請け負う「法事の窓口」(甲府市塩部4丁目)の小宮山哲社長に、全体の流れや注意したい点を教えてもらいました。

〈四十九日法要までの流れ〉



洋室にも合う家具調タイプ



主流となってきた家具調上置きタイプ

仏教では、死者は亡くなってから四十九日目に仏となり極楽浄土に行く。とされ、法要を行います。四十九日法要は四十九日を過ぎてはいけなさとされています。できるだけ早く日程を決め、案内状を出すことが大切です。葬儀のお礼のあいさつで寺院に行った時に、日時を決め、法要後の食事会場の仮予約をすることも勧められています。

4週間前までに案内状を出した後、位牌や仏壇、墓石の手配は慎重に行うようにアドバイスしています。

位牌は故人の魂が入る大切なものです。先祖の位牌がある場合はなるべく同じものにし、仏壇に合わせて選びます。仏壇がない方はこの機会に購入すると良いでしょう。

仏壇は跡継ぎの状況や家の造りで選び、プロに部屋を見てもらって購入することが望ましいといえます。最近は家具調上置きタイプが主流で、価格帯は家具調上置きタイプが7万〜20万円、家具調タイプが15万〜30万円、唐木仏壇が20万〜40万円の商品が選ばれています。

法事は家族・親族の絆を再確認する場になります。簡略化せずに行ってください。